

地域研究・国際研修プログラム

プログラム区分	海外実習
主幹部署	現代国際学部事務室
研修先国・地域名	イタリア・ミラノ
研修先	サッサリ大学
プログラム概要	<p>この研修は、主に地域活性化、自然災害や人口減少といった国内外の地域社会が直面する様々な課題の解決方法を座学とグループワークを通じて考える実践的な国際研修で、イタリアのサッサリ大学、ラクイラ大学等を中心に、ヨーロッパやアジア各地の大学と共催して開催しているものです。講師として、世界各地の研究者、実務家が集い、バラエティに富んだ授業が行われます（言語は英語）。参加学生は、イタリア、ドイツ、ポーランド、タイ、インドネシアなど世界各地から集まり、本学の学生はこのチームに加わって具体的なまちづくりプロジェクトを進めていきます。また、期間中には、参加者がそれぞれの国の料理を作って交流会を行うなど密度の濃い交流が行われます。特に 2022 年度は、ヨーロッパの山あい位置する小さな街を事例に、持続可能なコミュニティづくりをメインテーマとして、観光を通じた地域再生の取り組みを直に学びながら、理論と実践の循環をベースとしたプロジェクト形式の研修を行います。なお、研修期間中には、ローマまたはフィレンツェ等での現地視察、観光等も行う予定です。</p>
日程	出発予定時期：2024 年 8 月中旬 期間：2 週間
単位認定	地域研究・国際研修プログラム A（2 単位）
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	無
語学研修以外の内容	有
問い合わせ先	現代国際学部事務室
その他	

体験記：

現代国際学部 地域研究・国際研修プログラムに参加して

国際教養学科 小林 彩花

私達は 2009 年にラクイラ地震で大きな被害を受けた場所として有名な、イタリア中部のアブルッツォ州ラクイラに行き、ラクイラ大学での研修に参加しました。今回は、この再建途中のラクイラに住んでいる人々や観光客にとって歩きやすい街とは何か、各地から集まる留学生と自分達の専攻分野を生かしながらグループワークを行い、英語を使ってディベートを進めました。私達のグループは日本人四人、外国人二人という日本人が珍しくマジョリティだったのですが、他大学の日本人からも学ぶことが沢山ありました。私は最初自分の意見や英語に不安を感じて中々意見を言えませんでした。他の日本の学生達が外大生だからこそ持っている視点があるはずなのになぜ言わないのかと指摘してくれたことで、次の日から些細なことでも言おうと頑張ることができました。

この研修では、自分の英語の未熟さに苦しめられたものの、今後、自分は何の為に英語を学ぶのか深く考えさせられるいい機会になりました。英語はただ話せばいいのではなく、自分の意見を伝える為の道具であると改めて実感させられた研修でした。これらの経験から、英語力を高めることはもちろんのこと、より良い意見を持ち発信力を高める為に、専門的知識・教養を身につけ、その上で、コミュニケーションをとれるよう頑張らなければならないと実感しました。

各地から様々な言語、専攻を持った留学生と真剣にディベートし、時に和気あいあいとした場を共有できる機会は滅多にありません。自分を成長させたい人、やりたいことを見つけない人、英語を使って何かをしてみたい人はぜひ参加してみてください。

